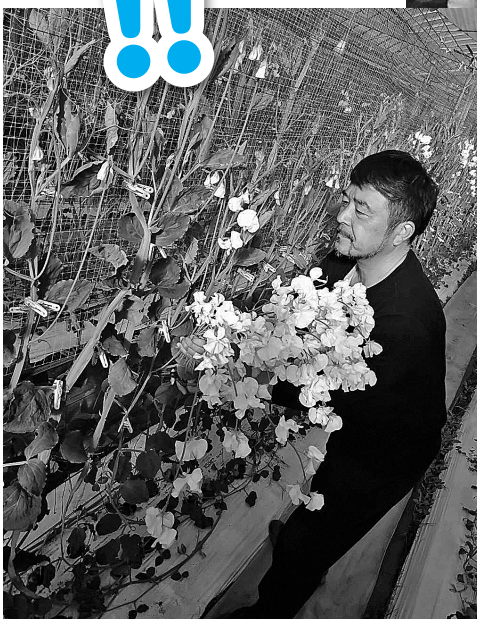


農業委員会だより

春に向けて
準備万端!!



今回は、スイートピー農家さんを訪問してきました！
9月に植え付け後、12月頃から花が咲き始めるそうで、きれいに咲かせるコツは、毎日欠かさずに手入れをする事だと話してくれました。

スイートピーの花言葉は、「優しい思い出」や「永遠の喜び」等数々ありますが、蝶のように羽ばたく姿から連想される「門出」が代表的だそうです。卒業や就職など、新たなスタートを迎えるこれからのピッタリです。

(麻生祐三子)

「令和8年度 豊後大野市農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書」を市長へ提出

農業委員会は、将来の農政に反映させるため、農業委員会等に関する法律に基づき、昨年10月15日に「令和8年度 豊後大野市農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書」を市長へ提出し、令和8年度の予算編成に向けた意見交換を行いました。

意見書では、農業発展のために欠かせない新規就農者等の育成と支援策の強化や、農家の高齢化や鳥獣害等により農地の荒廃が進む中での農地集積のあり方等を強く提案しました。



令和8年度 農地等の利用の最適化推進施策等に関する意見書の内容

1 農地等の利用の最適化の推進について

- (1) 担い手への農地の集積・集約化に関すること
- (2) 新規就農者の参入に関すること
- (3) 遊休農地の発生防止・解消に関すること

2 農業振興対策について

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) 担い手の確保・育成に関すること | (5) 女性農業者等の育成・確保について |
| (2) 農業生産基盤の整備に関すること | (6) 農業塾の開催について |
| (3) 有害鳥獣対策の強化に関すること | (7) 人材バンク制度の導入について |
| (4) 自然災害対策に関すること | (8) 海外に依存しない生産振興について |

農政コラム



今回、初めて農政コラムの記事を担当する事になり、まず取り上げたいことは、女性初の第104代内閣総理大臣となった高市早苗氏のことだ。「働いて働いて働いて働いて働いてまいます。」の言葉通り、日本のために日夜奮闘している姿が連日報道されている。

長期にわたり、日本経済の発展のために、様々なカードを切って仕事をしてもらいたいところだが、とりわけ私達農家に直結する農林水産大臣には、鈴木憲和氏というカードを切ってきた。お米が行き渡っていない国内に、いきなり「米の減反」を発言し、また、物価高騰対策、特に米価格高騰対策で打ち出した「お米券」には、どれだけの効果があるのか疑問符だらけで、前政権の真逆の政策を進もうとしているだけに、このカードではたして大丈夫なのかと不安を感じる。

誰もが、手持ちのカードで勝負を仕掛けるのは当然！しかし、そのカードをキングにするのかそれともジョーカーとなるのか、高市総理の手腕に目が離せない。

(小野不二夫)

(令和8年1月末時点)

豊後大野市農地賃借料情報

令和6年1月から令和6年12月までの1年間に締結された賃借料の水準（10aあたり）は、下表のとおりです。

農地の区分	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)
田	8,100	10,900	1,200
畑	11,700	27,100	2,000

(注)この表の金額は、あくまで賃借料の水準を示したものであり、実際に契約する際の目安や参考となるものです。

1. 賃借料を物納支給(水稻)している場合は、60kg当たり19,020円(令和6年産ヒノヒカリ1等米価)に換算しています。
2. 金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。
3. 「平均額」は、市内のデータ数により加重平均した値です。

ウーマンアグリネットおおいた活動報告

九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員会研修会

昨年11月18日・19日の二日間、長崎市のホテルニュー長崎を会場に開催され、農業委員、農地利用最適化推進委員、自治体職員など380名を超える参加者が集いました。長崎県知事等の挨拶、オリンピック金メダリストの内村航平選手のお母様の内村周子さんの講演会、また、各種研修内容もとても素晴らしかったです。

グループワークでは、円卓を囲んで各地域の活動状況や課題について意見交換を行いました。女性委員の数が依然として少なく、もっと参画が進めば意見を述べやすくなり、地域のリーダーとして女性が活躍する場が広がるのではないかという声が多く聞かれました。また、毎月の書類の多さやペーパーレス化の遅れなど、業務改善に向けた具体的な意見も交わされました。離農者の増加や耕作放棄地の広がり、昭和から大きく変わらない農業の仕組みについても見直しの必要性が議論され、各地域が共通の課題を抱えていることを改めて感じました。



を改めて感じました。

研修を通じて「誰のために農地を守るのか」「何のために守り続けるのか」という問いが胸に残りました。明確な答えはまだ見つかりませんが、日々の暮らしの中で一人ひとりが農業仲間とつながり、地域に向き合うことで、少しずつ未来が拓けていくのではないかと感じています。長崎県の温かいおもてなしに心より感謝申し上げます。

次期開催県は大分県。海も山も湯けむりもある豊かな土地で、大分県ならではの魅力を感じていただけるよう、心を込めて準備を進めるとともに、当日は“おんせん県おおいた”らしく、心までほぐれるような温かいおもてなしをご用意できればと思っております。

(橋本みゆき)





第86回 大分県畜産共進会

肉牛の部が昨年10月4日に大分県畜産公社にて、肉用牛の部が昨年10月21日に玖珠町にて開催されました。

県下から優秀な牛が勢揃い、豊後大野市からは8頭の牛が出品されました。

結果は、第3区最優秀賞3席に、清川町から出品された佐藤良和さんの牛が選ばれました。

出品者の皆さん、今年も猛暑で大変だったろうと思います。長い間の飼育ご苦労様でした。
(安藤大作)



全国の各部門の上位を独占!

豊後大野市農業委員会は、昨年8月29日に行われた「令和6年度農業者年金事業の加入推進実績表彰」を受けました。県下では、「新規加入」「目標達成率」で第1位、また、全国でも、全6部門中4部門において、上位の成績を収めました。特に20～39歳の新規加入者の部では、全国1,718市町村の中で第10位の成績でした。

農業者年金は、農業者が安心して豊かな老後生活を送るためのものです。今後も更なる加入推進を行い、農業者の福祉の向上に努めていきます。



日頃の地道な推進活動が評価されました

豊後大野市農業委員会は、全国トップクラスの農業者年金加入推進実績が評価され、昨年9月10日に豊後大野市から感謝状が授与されました。

活動は、農業委員をはじめ農地利用最適化推進委員が中心となり、地域の対象者の自宅を直接訪問し、農業者年金制度を説明する中で加入を推進するもので、農業者の福祉の向上を目指すために行っています。



＊明日の農政を考える集いを開催しました＊

今回は3つのテーマに分かれて、ベテラン、若者、女性、県振興局のメンバーで意見交換しました。



テーマ1 耕作放棄地対策

【原因】

少子高齢化
中山間地農業管理は不利
鳥獣被害



<解決策>

もうかる農業施策
ネットワークづくりの強化
農地管理の負担軽減



補助金強化？

夢みるなら…耕作放棄地を利用した作物 + JA + 飲料メーカー = SDGsのおいしい商品開発
日本版ターシャ・テューダーのような暮らしができる集落 → SNSで発信
ジビエの美味しい活用 古民家でフレンチ

テーマ2 農業人口の減少対策(女性の担い手対策)

こんな職場ならうれしいな♡

○営農法人で女性が正社員として働ける職場づくり

→トイレ、更衣室、託児ルーム、休みが多く、給料が良く、きれいな職場だから、自分たちで情報発信しちゃう職場

○自動車工場が分業で成り立っている様に、農業も下請け分担システム

→通年を通して作目を支持、調整、全量買い取りしてくれ、毎月安定収入得られるような親会社があれば…JA?

○国全体で農業副業OK、食育活動に取り組み、将来の日本農業へ投資

→週末や夏休みに親子で参加の農業体験イベント盛りだくさん。関係人口も増え、将来農業をしたい人が増えるかも！



テーマ3 農業後継者、新規就農者への支援



【あったらいいなこんな支援】

- 条件の良い農地を借りたいが、どこで聞いたらいいかわからない。
- 中古の機械やビニルハウス、空き家情報がほしい。
- 地域に入りやすいようお世話役の人を紹介してほしい。
- 住宅支援があるといい。(アパート暮らし)
- 都会では豊後大野市での家探し情報がほとんど無かった。
- 新規や親元就農の補助金要件をゆるやかにしてほしい。
- 儲かる農業を教えて欲しい。

(儲かっていても儲かってると言わない人が多い(笑))

就農を考えてる人におすすめYouTube



YouTube
https://www.youtube.com/channel/農Tube委員会 - YouTube



野菜栽培から経営戦略、補助金制度、農業産業全体の動向まで、松本自然農園の松本直之氏が真面目に、詳しく、熱く解説する情報量の多いチャンネルです。農業ビジネスや多角的な視点から学びたい方向いています。

お忙しい中、ご参加された農家のみなさん、ありがとうございました。今回のご意見を今後の県や市への要望書に反映させていただきます。

(後藤綾子)



豊後大野市農業委員会だより 第34号 発行：豊後大野市農業委員会 大分県豊後大野市三重町市場 TEL0974(22)1079

ふるさとの大地を守る！ 若き鉄人たち



今回の若き鉄人は三重町在住の
矢野良真さん33才です。

矢野さんは、若くして使命感を抱き農業大学校へ進学し、そして就農、結婚、経営規模拡大とパワフルな20代を過ごされました。

現在は、麦9ha・かん太君1.5ha・白ネギやドローンのオペレーター・林業など、充実度150%の農業人生を歩んでおられます。

矢野さんからは、「『農業で生きていく！』とがむしゃらにやってきました。大きいトラクターも買える様になりました。そして今からは、経営規模拡大を目指し、地域の農業に少しでも貢献できればと思っています。」と力強く語ってくれました。

農業界にとっても、3人のお子さんにとっても、更なる鉄人ぶりを願います。
(三代忠佑)

農業者年金は 積立年金



安心して豊かな老後のため、
農業者年金に加入しましょう！

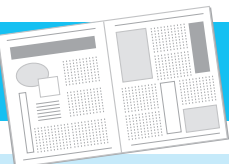
農業者年金加入条件

次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

- ① 60歳*未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事(配偶者・後継者も可)
- ③ 国民年金第1号被保険者

*特例があります。詳細はご相談ください。

全国農業新聞を購読しませんか？



全国農業新聞は、「暮らしと経営」に役立つ情報をお届けします。農業に関する最新技術・新製品や新品種、全国各地で活躍する農業者の工夫やアイデア等、農業に役立つ情報を紹介しています。

■金曜日発行／月700円
■年間／8,400円(消費税込)

※4月から月900円年間10,800円に変更となります。

1週間に1度、農業・農政情報をお届けします。

●購読の申し込みは
農業委員会事務局へ！

お気軽にご連絡ください。

編集後記

先日、農業法人代表者と市長との意見交換会に出席した。山積する集落営農継続の課題に関する内容に焦点を絞り有意義な内容であったと思う。
今年には米価高騰という状況に喜びながらも、一方で戸惑いもあるのではないだろうか。今後、農政は米作について「増産」か「減産」かどちらに進むのか？農業者が「一枚舌」なっても我が国リーダーたちは「二枚舌」では日本農業は衰退の道を進るばかりだ。
「そんなことより」夢を語ろう。20代の君にも50代の貴方にも70代の私にも青春時代があった。キラキラ輝き夢を追いかけていた時があったんだよ。懐かしい。
「君が踊り僕が歌うとき新しい時代の夜が生まれる。太陽の代わりに音楽を!!青空の代わりに夢を!!。新しい時代の夜をリードする・・・」ラジオ深夜放送。このナレーションに青春の全てが凝縮されている。何するにも夢があった。
我が国の農業も早や新しい時代に入っている。しかしその根底には地域の集落営農、生産の場で携わる人々により守られていることを忘れてはならない。農家は働いて働いて働いて食を支えているんだ!!夢があるんだよ!!願ひ星叶い星。
廣瀬正雄

第34号編集委員

- 委員
- 三安小橋後麻廣
 - 代藤野本藤生瀬
 - 忠大不み綾祐正
 - 佑作夫き子子雄

農地に関するご相談

地域の農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局へ！
■豊後大野市農業委員会事務局 ☎直通0974(22)1079